

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
	③ 精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ	○ 現代日本の学校教育と生徒児童の特徴	・ いじめ、学校における暴力、自殺 ・ 不登校、学級崩壊 ・ 非行問題(少年犯罪、薬物依存、10代の妊娠)等	
		○ 教員の精神保健		
		○ 関与する専門職と関係法規	・ 学校保健法など	
	④ 精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ	○ 保健所等の精神保健福祉士の役割		
		○ 現代日本の労働環境		
		○ うつ病と過労自殺		
		○ 飲酒やギャンブルに関する問題		
		○ 心身症と生活習慣病		
		○ 職場内の問題を解決するための機関及び関係法規	・ 労働基準法、労働安全衛生法など	
	⑤ 精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ	○ 保健所等の精神保健福祉士の役割		
		○ 災害被災者、犯罪被害者の精神保健		
		○ ニートや貧困問題と精神保健		
		○ ホームレスと精神保健		
○ 性同一性障害と精神保健				
⑥ 精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割	○ 他文化に接することで生じる精神保健上の問題			
	○ アルコール問題に対する対策			

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 薬物依存対策	
		○ うつ病と自殺防止対策	
		○ 認知症高齢者に対する対策	
		○ 社会的ひきこもりに対する対策	
		○ 災害時の精神保健に対する対策	
	⑦ 地域精神保健に関する諸活動と精神保健に関する偏見・差別等の課題	○ 関係法規	・ 地域保健法、母子保健法など
		○ ネットワークづくり	
		○ 資源開発	
		○ 精神保健に関する調査	
		○ 精神保健に関わる人材育成	
		○ 国民の精神障害観	
		○ 施設コンフリクト	
	⑧ 精神保健に関する国、都道府県、市町村、団体等の役割及び連携	○ 国の機関とその役割	
		○ 精神保健に係る法規	
		○ 保健所の配置と精神保健に関する役割	
		○ 保健センターや保健福祉センターの役割	
		○ 学会や啓発団体	・ いのちの電話、アルコール問題、精神衛生会
		○ 主なセルフヘルプグループ	・ 家族会、当事者の会
	⑨ 諸外国の精神保健活動の現状及び対策	○ 世界の精神保健の実情	
		○ WHOなどの国際機関の活動	
		○ 諸外国の精神保健医療の実情	

3. 精神保健福祉相談援助の基盤 I (30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉士の役割(総合的包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発を含む)と意義について理解する。 社会福祉士の役割と意義について理解する。 相談援助の概念と範囲について理解する。 相談援助の理念について理解する。 	① 精神保健福祉士の役割と意義	<ul style="list-style-type: none"> ○ 精神保健福祉士法 ○ 精神保健福祉士の専門性 ○ 精神保健福祉士の専門職倫理と倫理的ジレンマ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法制度見直しの背景 ・ 定義、義務 ・ その他 ・ 日本精神保健福祉士協会倫理綱領 ・ 国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)倫理綱領 ・ 倫理的ジレンマ ・ その他
	② 社会福祉士の役割と意義	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福祉士及び介護福祉士法 ○ 社会福祉士の専門性 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定義、義務 ・ 法制度見直しの背景 ・ その他
	③ 相談援助の概念と範囲	<ul style="list-style-type: none"> ○ ソーシャルワークに係る各種の国際定義 ○ 社会福祉士・精神保健福祉士が行うソーシャルワークの形成過程 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)の定義 ・ その他 ・ 慈善組織活動 ・ セツルメント運動 ・ その他
	④ 相談援助の理念	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権尊重 ○ 社会正義 ○ 利用者本位 ○ 尊厳の保持 ○ 権利擁護 ○ 自立支援 ○ 社会的包摂 ○ ノーマライゼーション 	

4. 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ (30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者を対象とした相談援助活動の基本的考え方と相談援助技術の概要について理解する 精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲について理解する 精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する 総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する 	<p>① 精神障害者を対象とした相談援助活動の基本的考え方と相談援助技術の概要</p>	<p>○ 精神障害者を対象とした相談援助活動の目的・価値・意義・内容・原則</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目的, 価値, 意義, 内容, 原則 その他
		<p>○ 相談援助技術の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相談援助に関する概念の整理 個別に相談援助する技術 集団を活用した相談援助技術 地域を基盤に置いた相談援助技術 その他
	<p>② 相談援助に係わる専門職(精神科病院、精神科診療所を含む)の概念と範囲</p>	<p>○ 医療機関(精神科病院、精神科診療所を含める)における専門職</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医師、薬剤師、看護師、作業療法士、理学療法士、臨床心理技術者、管理栄養士 その他
		<p>○ 福祉行政・関連行政機関等における専門職</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉事務所の現業員、査察指導員、社会福祉主事、児童福祉司、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司 保健所の医師、保健師、作業療法士 保護観察所の社会復帰調整官 労働行政機関等の障害者職業カウンセラー、職場適応援助者(ジョブコーチ)等 その他
	<p>○ 民間の施設・組織における専門職</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設長、生活指導員、社会福祉協議会の職員、地域包括支援センターの職員 相談支援専門員、サービス管理責任者、居宅介護従事者 その他 	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	③ 精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲	○ 相談援助における権利擁護の概念と範囲	・ 自己決定、意思決定能力 ・ 権利擁護システム
		○ 精神障害者の人権擁護と精神保健福祉士の役割	
	④ 総合的かつ包括的な援助と多職種連携(チームアプローチ含む)の意義と内容	○ ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な援助の意義と内容	
		○ ジェネラリストの視点に基づく多職種連携(チームアプローチ)の意義と内容	

5. 精神障害者福祉の理論と相談援助の展開(135時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> 精神医療の特性(精神医療の歴史・動向や精神科病院の特性の理解を含む)と、精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する。 精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。 精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーション(精神科専門療法を含む)の知識と技術及び活用の方法について理解する。 精神障害者を対象とした相談援助技術(個別援助、集団援助の過程と、相談援助に係る関連援助や精神障害者と家族の調整及び家族支援を含む)の実際について理解する。 精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する。 精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解する。 	① 精神保健医療福祉の歴史と動向	○ わが国の精神保健医療福祉の歴史と動向	
	② 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識	○ 諸外国の精神保健医療福祉制度の変遷	
		○ 精神保健福祉士における活動の歴史	<ul style="list-style-type: none"> 社会防衛 Y問題 権利利擁 自立生活支援
		○ 精神障害者支援の理念	<ul style="list-style-type: none"> ノーマライゼーション ストレングス リカバリー レジリエンス
		○ 精神保健医療福祉領域における支援対象者	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害の概念 精神障害者の定義 精神障害者の特性 その他(労働、司法、教育領域における対象者) その他(自殺対策基本法、発達障害者支援法等の対象者)
		○ 精神障害者の人権	<ul style="list-style-type: none"> 国連原則 欠格条項 インフォームドチョイス 権利擁護システム
	③ 精神科リハビリテーションの概念と構成	○ 精神科リハビリテーションの概念	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションの歴史と概念
		○ 精神科リハビリテーションの理念、意義と基本原則	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションの理念、意義と基本原則
		○ 精神科リハビリテーションの構成と展開	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワーク(地域相談援助に係る組織、団体、関係機関及び専門職との連携についての理解を含む)の実際について理解する。 ・ 地域相談支援における医療機関、在宅医療サービスとの連携の意義と実際について理解する。 ・ 精神障害者の相談援助に係わる社会調査の意義、目的、概要及び活用について理解する。 	④ 精神科リハビリテーションのプロセス	○ リハビリテーション計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業療法及びレクリエーション療法、集団精神療法、行動療法、認知行動療法、SST(生活技能訓練) ・ 心理教育 ・ 精神科退院前訪問指導、精神科訪問看護・指導 ・ 治療モデル(医学モデル、欠陥モデル) ・ 生活モデル(環境モデル、エコシステムモデル、社会モデル) ・ ストレングスモデル
	⑤ 医療機関における精神専門療法とチーム医療における精神保健福祉士の役割	○ アプローチの方法	
		○ 精神専門療法	
		○ 家族教育プログラム	
		○ 精神科デイ・ケア等	
		○ アウトリーチ	
		○ チーム医療の概要	
		○ 多職種との協働・連携	
⑥ 精神障害者の支援モデル	○ 代表的な実践モデル		
⑦ 相談援助の過程及び対象者との援助関係	○ 受理面接(インテーク)		
	○ 契約		
	○ 課題分析(アセスメント)		
	○ 支援の計画(プランニング)		
	○ 支援の実施(インターベンション)		
	○ 経過観察(モニタリング)		
	○ 効果測定と支援の評価		
⑧ 相談援助活動のための面接技術	○ 終結とアフターケア		
	○ 面接を効果的に行う方法	・ カウンセリング技法	

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
	⑨ 相談援助活動の方法(医療施設、社会復帰施設、地域社会を含む)	○ 個別支援の実際と事例分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病及び障害に配慮した個別支援展開(危機介入アプローチ、生活支援の援助技術) ・ 精神障害者の主体性の尊重 ・ 個別支援の実際と適用分野 	
		○ 集団を活用した支援の実際と事例分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病及び障害に配慮した集団支援の展開 ・ 集団を活用した支援の実際と適用分野[デイケアとグループワーク、SST(生活技能訓練)、セルフヘルプグループ(自助グループ)] 	
	⑩ 家族調整・支援の実際と事例分析	○ 具体的事例検討		
		○ 精神障害者と家族との関係		
		○ 家族支援の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族療法的アプローチ 	
	⑪ スーパービジョンとコンサルテーション	○ 具体的事例検討		
		○ スーパービジョンの方法と展開		
	⑫ 地域移行の対象及び支援体制	○ コンサルテーションの方法と展開		
		○ 地域移行支援の対象		
		○ 地域移行の体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神科病院の体制 ・ 地域移行支援の体制 	
		○ 精神保健福祉士の役割と多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神保健福祉士の業務内容 ・ 精神保健福祉士の専門性と役割 ・ 多職種との連携(チームアプローチ) ・ ACT、PACT 	
		○ 地域移行に係る組織や機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援協議会 	
○ 地域移行を推進する制度、施策				
		○ 具体的事例検討		

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
	⑬ 地域を基盤にした相談支援の主体と対象(精神障害者の生活実態とこれらを取り巻く社会情勢、医療、福祉の状況を含む)	○ 地域相談支援の主体		
		○ 地域相談支援の対象		
		○ 地域相談支援の体制		
		○ 具体的事例検討		
	⑭ 地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ネットワーク ・ 地域生活支援事業と訪問援助 ・ 家族会および自助グループ ・ 精神保健ボランティアの育成と活用 	
	⑮ 精神障害者のケアマネジメント	○ ケアマネジメントの原則	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適用と対象 ・ 人権への配慮 	
		○ ケアマネジメントの意義と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネジメントの意義と方法 ・ 関係機関との連携 	
		○ ケアマネジメントのプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ インテーク ・ ニーズの把握とその評価 ・ 目標設定と計画的実施 ・ 包括的サービスの実現 ・ 評価 	
		○ チームケアとチームワーク		
	⑯ 地域を基盤にした支援とネットワークキング	○ 具体的事例検討		
		○ 地域を基盤にした支援の概念と基本的性格		
		○ 地域を基盤にした支援の具体的展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノーマライゼーションの推進と住民参加 ・ 社会資源の活用と開発 ・ 地域社会における連携と調整機能 ・ 家族会、自助グループの支援 ・ ボランティア等地域マンパワーの育成と活用 ・ 地域生活支援活動 	
		○ 具体的事例検討		

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
	⑰ 関連組織・機関等の概要と専門職との連携	○ 福祉サービス提供施設・機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会復帰施設 ・ グループホーム ・ 小規模作業所 ・ 相談支援事業所 ・ 地域活動支援センター ・ 就労・生活支援センター ・ その他
		○ 行政機関等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神保健福祉センター ・ 保健所 ・ 市町村 ・ ハローワーク ・ その他
	⑱ 医療機関、通院・在宅医療サービスとの連携の意義と実際	○ 精神科病院、精神科診療所等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主治医、精神保健福祉士、外来看護師 ・ 地域連携部門、デイケア部門、訪問看護部門(ステーション含む)
	⑲ 社会調査の概要(意義、目的、倫理、方法)と活用	○ 社会調査の意義と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠にもとづいた実践
		○ 社会調査の対象	
		○ 社会調査における倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会調査における個人情報保護
		○ 量的調査の方法と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全数調査と標本調査 ・ 横断調査と縦断調査 ・ 自形式調査と他形式調査 ・ 測定の水準、信頼性と妥当性 ・ 質問紙の作成方法と留意点 ・ 調査票の配布と回収 ・ 集計と分析
		○ 質的調査の方法と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察法 ・ 面接法 ・ 記録の方法と留意点 ・ データの整理と分析
		○ ICTの活用方法	

6. 精神障害者の制度と福祉サービス(45時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者の相談援助活動と法(精神保健福祉法)との関わりについて理解する。 精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する。 精神障害者の支援において係わる施設、団体、関連機関等について理解する。 更生保護制度と医療観察法について理解する。 	① 精神保健福祉法の意義と内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 精神保健福祉法の意義と内容 ○ 精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法律の目的、地方精神保健福祉審議会及び精神医療審査会、精神保健指定医、入院形態、精神障害者保健福祉手帳 ・ その他
	② 精神障害者の福祉制度の概要と福祉サービス	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者基本法と精神障害者施策との関わり ○ 障害者自立支援法における精神障害者の福祉サービスの実際 ○ 精神障害者を対象とした福祉施策・事業の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神障害者が利用する福祉サービスに特化した国・都道府県・市町村の制度や事業
	③ 精神障害者に関連する社会保障制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療保険制度の意義と内容 ○ 介護保険制度、の意義と内容 ○ 経済的支援に関する制度の意義と内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所得保障(障害年金・手当・生活保護・労災・その他の災害補償)、税金控除
	④ 相談援助に係わる組織、団体、関係機関及び専門職や地域住民との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政組織と民間組織の役割と実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治体、社会福祉法人、特定非営利活動法人、社会福祉協議会、民生委員、児童委員、自治会、ボランティア組織、企業 ・ その他

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ インフォーマルな社会資源の役割と実際	・ 家族、セルフヘルプグループ、ピアヘルパー ・ その他
		○ 専門職や地域住民の役割と実際	・ 精神保健福祉士、社会福祉協議会の地域福祉専門活動委員、介護相談員、認知症サポーター ・ その他
	⑤ 更生保護制度の概要と精神障害者福祉との関係	○ 更生保護制度とその担い手	
	⑥ 更生保護制度における関係機関や団体との連携	○ 司法・医療・福祉の連携 ○ 保護観察所の役割と実際	
	⑦ 医療観察法の概要	○ 医療観察法の意義と内容	・ 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律
		○ 社会復帰調整官の役割と実際	
	⑧ 医療観察法における精神保健福祉士の専門性と役割	○ 精神保健参与員の役割と実際 ○ 入院者・通院者に関する処遇	・ 指定入院医療機関、指定通院医療機関